



知りたいこと、みっけ!

…みっけ通信 6月号…

市内の子育て情報を紹介しています。みっけ(子育て支援センター)、
プチみっけ(市役所3階)にも気軽にお立ち寄りください。



～0歳からはじめる絵本の読み聞かせ～

絵本を読む時間は、大切なスキンシップの時間になります。寄り添ったときの肌のぬくもり、耳に届く声…大好きな人が絵本を読んでくれる時間は、こどもにとって心が満たされる特別なものです。たとえ絵本の内容が理解できなくても、こども達は心地よい家族の声で心が安定し、はっきりとした色合いの絵本を見ることで脳が刺激され、少しずつ成長していきます。雨でお出かけや外で遊べない日は、家の中で絵本を通して楽しい時間を過ごしてみませんか？

0歳児の絵本

絵本を『読む』ではなく、『見る』ことを楽しむ時期です。はっきりした色で描かれたものや、単純な形が出てくる本だと、赤ちゃんの目にとまりやすいですね。文字が少なく、言葉や音(オノマトペ)の繰り返しがある絵本を選べると、赤ちゃんも絵本に興味を持ってくれます。



1歳児の絵本

色々な物の名前や言葉を知っていく時期です。食べ物や動物など、身近なものが載っている絵本を選んでみましょう。「○○がいるね」など声をかけてあげることで、絵で見たものと耳から入った言葉が結びついていきます。絵本の中の食べ物を食べるまねをするなど、見立て遊びも楽しめますよ。

2歳児の絵本

自我が発達し、「好き嫌い」が出てきます。こどもの好き・興味のあるジャンルから絵本を選んでみましょう。また、いろいろなことに挑戦できるようになってくる時期なので、生活に寄り添った内容の絵本を選べると、身のまわりのことへの意欲につながっていきます。



3歳児の絵本

好奇心が強くなり、「なんで」「どうして」と知りたがるようになります。こどもの興味を深掘りできるような絵本を選んであげられるといいですね。この頃になると、簡単なお話であれば流れがわかるようになるので、起承転結があるものと一緒に楽しめますね。



中央図書館の「じどうしつ」では、毎週絵本やかみしばいの読み聞かせをしています。楽しい本に出会えるかも♪♪日程等の詳細は中央図書館HPか、ぼくらのみっけサイトで確認してください♪



子育て支援コーディネーターの
子育てちょこっとイベント



高温多湿のこれからの季節は、エアコンを上手に使いながら少しでも快適に過ごしたいですね！

夏(6月・7月・8月)の快適な室温と冷え過ぎ・熱中症対策

快適な夏の室温・湿度の目安

室温	外気より4～5℃低い温度(目安は25～28℃程度)
湿度	50%前後



ポイント

夏場は昼夜問わず熱中症の注意が必要です。ただ、暑いからといって目安以下の温度でエアコンをずっとつけたままにすると、体が冷えすぎたり、外気との温度差によって体に負担をかけてしまいます。エアコンの風が直接体に当たらないように、扇風機やサーキュレーターを活用して部屋の空気を循環させて室温を一定に保ちましょう。

そうか子育て応援・情報サイト「ぼくらのみっけ」

子育ての情報や、中央図書館「じどうしつ」の読み聞かせなど市内のイベントも掲載中♪
こちらの2次元コードから探してみてください!!→

